

平成25年度 宝くじ社会貢献広報の見直し

社会貢献広報監督 PT による検討結果に基づき、宝くじの社会貢献広報については、下記のとおり見直すこととする。

記

1 発売団体が行う宝くじ社会貢献広報の見直し

- (1) 発売団体ホームページ及び宝くじ公式サイトによる広報の充実
写真掲載、収益金使途説明及びクーちゃん表示を徹底する等広報の充実を図る。
- (2) 発売団体が行う社会貢献広報の活性化
広報の好例を取り上げ、参考にすることで取り組みを活性化させる。
- (3) 社会貢献広報 CM の改善
宝くじのイメージアップに効果的な CM を作成する。
- (4) グリーンジャンボ宝くじ均等割収益金（均てん化）の継続
グリーンジャンボ宝くじ均等割収益金（均てん化）を継続する。
ただし、「発売団体の着実な広報を推進する」という主旨を踏まえ、積極的に社会貢献広報の強化に努めることとする。
- (5) 発売団体が行う全国的・先進的事業を活用した社会貢献広報の廃止
当枠を廃止し、各発売団体が自ら社会貢献広報に取り組む。
全国的な社会貢献広報については、新聞やラジオ等の活用により、充実を図るものとする。

2 社会貢献広報事業の見直し

- (1) 再委託の継続
社会貢献広報事業について、財団法人日本宝くじ協会（以下「日宝協」という。）及び財団法人自治総合センターの事務量を精査したところ、発売団体のみでは担いきれない規模の事務、広報を行っており、発売団体自らの社会貢献広報が十分でない状況を踏まえ、再委託を継続する。
- (2) 助成対象の拡大
日宝協による公益法人助成において、大臣所管以外の法人も対象とすることで、新規事業を促進し、社会貢献広報に広がりを持たせる。
- (3) 広報効果の検証
「国民に理解される」という目標の達成度を検証するため、既存の宝くじモニター制度や世論調査を活用し、広報効果の検証を実施する。
また、日宝協による公益法人助成については、日宝協自らの効果検証を踏まえ、より効果的な広報の在り方を検討する。